

藤波こども園

園長だより No. 65 令和2年12月8日
文責 竹原 篤



FUJINAMI
KODOMOEN

旧 藤波幼稚園 現 藤波こども園

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のなか、毎日の健康観察票の記入・玄関でのアルコール消毒をはじめ、園運営に保護者の皆様のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。先日の12月4日(金)にコロナ感染防止対策を取り、組別の入れ替えで『発表会』を行いました。子どもたちが自分の持てる力を精一杯出して頑張っている姿を多くの保護者の皆様にご参観していただき感謝しています。

発表会を振り返って花組・星組・月組の担任より

花組 運動会後も3匹のこぶたのおはなしを楽しんできた花組さん。劇の中でも、そんなおはなしの世界を十分楽しむ姿がありました。役になりきり登場したり、大きい声で返事をしたり、はずかしそうにしていたり、おうちの人を見つけて手を振ったり、どんな姿も今の子どもたちのかわいらしい姿で、私たちの心を和ませてくれました。また来年は、違った姿を見せてくれることでしょう。これからも友だちや先生と一緒に「楽しい」をいっぱい共感し、過ごしていきたいと思えます。



星組 わんぱくだんのドキドキいっぱい発表会がおわりました！星組さんにとっては2回目の発表会でしたが、子どもたちにとって、去年とはまた違った「緊張感」があり、当日が近づくにつれて『ああ、ドキドキする』『おうちのひとにきてほしいけど緊張する』と、自分の気持ちを伝えてくれました。当日の姿から、おうちの方にもその気持ちは十分伝わっていたと思います。『花組のときは先生の後ろに隠れていたけど、星組は先生いなくてもできるぞ！』とわんぱくだん。自分たちの足でそこに立つ姿、とてもカッコ良かったです。子どもたちの気持ちが、また来年の姿へとつながっていくのだと感じました。



月組 劇の題材決めから、役、セリフ、衣装、大道具・・・全て子どもたちが考え創り上げた発表会。取り組みをはじめた時から『発表会まであと〇日！！』と楽しみにし、毎日意欲的に、主体的に活動を積み重ねてきてくれました。発表会当日はたくさんのお客様を前に緊張もあったと思いますが、自分たちで創り上げた劇だからこそ、自信を持って、また仲間と教え合ったり協力し合ったりしながら発表する姿があり、とても頼もしく感じました。残念ながら欠席のお友だちもいたのですが、『〇〇くんの分も頑張る！』『〇〇くん「頑張れ」っていついてくれていると思う！』と気持ちは27名ひとつの発表会になったと思います。



11月11日(水)に火災による避難訓練(119番通報を含む)を実施しました。本年度はコロナ感染拡大防止対策により、このような内容での避難訓練ができていませんでした。6月に集会形式ではなく非常ベルを鳴らし、その後各ホームで絵カードによる指導をしました。その後、7月に星・月組さんが実際に園庭へ避難し、花組・雪組・桃組はその様子を見学しました。地震による避難訓練を各ホームで絵カードを使い実施し、10月には保護者の皆さんの協力を得て、大地震後の引き渡し訓練を行いました。

今年度は、今回のように全園児が園庭に避難する訓練は初めてで、どのような行動がとれるか心配もありました。また、日頃は園児個人の思いを大切に保育や行事を進めているため、子どもたちは自分自分の思いで活動しています。しかし、今回の避難訓練では、ここ一番一斉指導の中でしっかり話を聞くことができました。

消防署職員さんからの講評で、たてわり活動で学んだことが活かされたり、成長したりできている子どもたちの姿に感心してくださり、お褒めの言葉をいただきました。制服姿の消防署職員さんがお話をしてくださったので、園児たちの緊張した姿も見られ、とても良い避難訓練になりました。



🌸ありがとうございます🌸

【いただきました】

甘柿・渋柿 中野区 保護者様より

いただいた甘柿は給食で美味しくいただきました。渋柿は月組が干し柿の作り方を学び、お家へ持って帰りました。

